

社会福祉学科			社会福祉 専攻						
科目名: ソーシャルワーク研究			担当教員 氏名: 鷹西 恒、松尾 祐子 中村 尚紀						
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考			
1	2年次	後期	専門科目	演習	選択				
実務経験を用いてどのよ 社会福祉士、精神保健福祉士、ケアマネージャー等の資格を有した教員が、相談等の実務経験を生かし うな授業を行っているか: た授業を行う									
授業科目の学習教育目標の概要:					キーワード				
・研究テーマを決め、各研究室の教員の指導のもとに研究活動を行い、これを通じて研 究の進め方や問題解決法などを学ぶ ・将来、専門職となった際に必要なプレゼン技法等を身につける					ソーシャルワーク、先行研究、研究計画、 研究調査、プレゼン技法、考察				
授業における学修の到達目標									
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)			自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号)		1. 2. 5. 6. 7. 9. 10				
A 知識・理解力			福祉研究や文献等に触れることで総合的な知識力を高めることができる						
B 専門的技術			ソーシャルワークにおける視野、視界、視座の範囲を広げることができる						
C 論理的思考力			想起、研究、実践のプロセスを理解することで思考力を身につけることができる						
D 問題解決力			研究を通して問題解決に至る力を身につけることができる						
G 倫理観			研究を通して生命観や倫理観を身につけることができる						
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする									
テスト:	%	レポート:	%	発表:	30 %	実技試験:	%	その他:	70 %
特記事項:その他とは、研究の内容、論文、活動の取り組み姿勢や態度のことである。									
アクティブラーニング要素: 課題解決型学習 デスカッション、ディベート グループワーク プレゼンテーション 実習、フィールドワーク									
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: 課題研究論文等の提出と発表を義務づける									
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法:									
授 業 計 画					準備学習(予習・復習等)				
					学習内容	学習に必要な 時間(分)			
【オリエンテーション】研究の目的、学習の進め方と姿勢、評価方法等の説明									
テーマ、研究領域の設定(10月) 全体および個別指導									
テーマ決定及び研究計画の作成(10月)									
調査、研究の実施(11~12月)									
中間発表(12月)									
結果分析と考察(1月)									
論文や研究成果の提出(~1月)									
研究発表会(2月)									
使用テキスト:					その他参考文献など: 『論文の書き方マニュアル—ス トップ式リサーチ戦略のすすめ』新版(有斐閣アルマ)花 井 等(著)若松 篤(著)				
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): 目的意識をしっかり持ってすすめてください。									